

未来機械、墨出しロボット「SUMIDAS」で 日本ロボット学会「実用化技術賞」を受賞

— 竹中工務店、レンタルのニッケンと共同開発 —



表彰式の様子(2026 年 9 月 3 日)

株式会社未来機械(本社:香川県高松市、代表取締役社長:三宅 徹、以下、当社)は、株式会社竹中工務店(代表取締役社長:丁野 成人)、株式会社レンタルのニッケン(社長:齊藤 良幸)と共同開発した墨出しロボット「SUMIDAS」により、一般社団法人日本ロボット学会の 2026 年度(第 31 回)「実用化技術賞」を受賞しました。表彰式は 2026 年 9 月 3 日、第 44 回日本ロボット学会学術講演会の会期中に行われました。

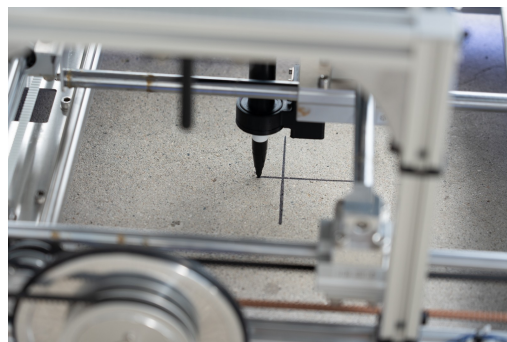
受賞技術と当社の役割

SUMIDAS は、建築施工において「墨出し」と呼ばれる、部材の取り付け位置などの情報を床面に記す作業を自動で行う自走式のロボットシステムです。3 次元レーザ測量機でロボットの位置を計測しながら、CAD データに基づいて床面に墨出しを行います。

本ロボットは 3 社の共同開発によるもので、竹中工務店が基本特許の発明と試作機の開発・検証を行い、当社が商用機の開発と製造を担当しています。レンタルのニッケンは、2023 年 11 月から本ロボットのレンタル事業を行っています。



測量機(左)と墨出しロボット(右)



ロボットによる床面への描画の様子

実用化技術賞について

実用化技術賞は、産業分野の自動化の推進や社会生活の改善にロボット技術の研究開発成果が直接役立てられ、ロボット技術の社会への貢献が一層進むことを目的として、ロボットに関する優秀な実用化技術の開発を行った個人やグループに、日本ロボット学会が毎年贈呈するものです。

過去の受賞技術には、エンターテインメントロボット AIBO(2002 年)、「きぼう」ロボットアーム軌道上組立技術(2011 年)、小惑星探査機「はやぶさ 2」に搭載された小惑星探査ローバ「ミネルバ 2」(2019 年)などがあります。

当社の受賞者

SUMIDAS の受賞者は 3 社の計 10 名で、このうち当社の受賞者は次の 3 名です。

代表取締役社長 三宅 徹
CDO(最高開発責任者) 三輪 悟
機械設計エンジニア 多田 和弘

受賞者一覧(日本ロボット学会): https://www.rsj.or.jp/info/awards/category/technical_innovations/

今後の展開

当社は、レンタルのニッケンによる SUMIDAS のレンタル事業に向けて、引き続き機体の製造と供給を担います。また、SUMIDAS と共通の技術を用いた当社製品の墨出しロボット「HOKUSAI」を、主に海外市場向けに展開しています。
(※HOKUSAI は株式会社未来機械の登録商標です。)

代表コメント

代表取締役社長 三宅 徹は、「このたびの受賞は、竹中工務店による着想と検証、当社による商用機の開発と製造、レンタルのニッケンによる現場への展開という 3 社の役割分担が、一つの製品として結実したことに対するものと受け止めています。当社は創業以来、屋外や過酷な環境で稼働するロボットの研究開発を手掛けてまいりました。建設現場で使われる機械として実用化に至った本技術が学会から評価されたことを励みに、今後も現場で使われるロボットの社会実装に取り組んでまいります」と述べています。

未来機械について

当社は、「テクノロジーでロボットを当たり前存在にし、人々を苦役から解放する」をミッションに掲げ、屋外や過酷な環境で稼働するロボットの研究開発、製造、販売を行っています。

社名	株式会社未来機械(英文:MiraiKikai, Inc.)
所在地	香川県高松市上林町 584-1
代表者	代表取締役社長 三宅 徹
設立	2004 年 3 月 24 日
資本金等	約 8 億円
事業内容	ロボット・メカトロニクス機器の研究開発、製造、販売
URL	https://miraikikai.jp

■本件に関する報道関係者からのお問い合わせ先:

株式会社未来機械 広報担当: 西岡

Tel. 087-816-5112 Email info@miraikikai.jp Web <https://miraikikai.jp/>